
科学研究費助成事業について

Reorganization of KAKENHI: Current Activities of JSPS

世話人：原田慶恵（大阪大学蛋白質研究所，日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員）

Organizer：Yoshie Harada (Institute for Protein Research, Osaka University; Program Officer, Research Center for Science Systems, JSPS)

日時：9月30日（金）12:00～13:00

会場：函館アリーナ B 会場

昼食：お弁当とお茶を無料で提供いたします。

形式：プレゼンテーション

※このイベントは日本語で開催します。

*This event will be presented in Japanese language.

概要：今、日本が将来にわたって卓越した研究成果を持続的に生み出し続け、世界の中で存在感を保持できるかが問われています。こうした中、科学技術・学術審議会において、学術研究への現代的要請として、「挑戦性・総合性・融合性・国際性」の四つを挙げ、科研費制度の抜本的改革が提言されました。これを踏まえ、文部科学省では「科研費改革の実施方針」を策定し、科研費の研究種目・枠組みの見直しや審査システムの見直し（「審査システム改革2018」）が行われ、平成30年度科研費（平成29年9月公募）において、新たな審査システムによる審査を実施しました。今回は、このシステム改革の内容のほか、その他の改善や充実を図った点等について、ご説明をいただきます。